

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都薬品工業長田野工場自動ラック	階数	地上6F
建設地	京都府福知山市長田野町2-62-2	構造	SRC造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	39 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年9月 予定	評価の実施日	2010年12月15日
敷地面積	18,399 m ²	作成者	竹中工務店大阪本店設計部
建築面積	1,027 m ²	確認日	2009年7月21日
延床面積	3,065 m ²	確認者	竹中工務店大阪本店設計部



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	98%
③上記+②以外のオンサイト手法	98%
④上記+オフサイト手法	98%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

音環境	3.4
温熱環境	3.5
光・視環境	3.0
空気環境	4.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.0
耐用性・信頼性	3.1
対応性・更新性	3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

生物環境	1.0
まちなみ・景観	4.0
地域性・アメニティ	3.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物の熱負荷	N.A.
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	3.0
効率的運用	4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	2.9
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化への配慮	3.0
地域環境への配慮	3.3
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	福知山市長田野工業団地内に計画された製薬工場の増築で、既存棟のコンセプトを踏襲したc-GMP対応固形製剤工場。主体構造は、自動ラックを内包する大空間を維持するためのSRC構造を採用し、高効率な構造形式を採用している。	その他
Q1 室内環境	医薬品製造工場特有の外的環境を抑制した室内環境を実現している。	Q3 室外環境(敷地内)
Q2 サービス性能	設備系配管の必要スペース・更新時のメンテナンス性から階高や構造・設備形式を決定し、医薬品生産工場特有の自由な設備レイアウトを可能にするサステナビリティに重点をおいた設計を行った。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	全館に渡って高効率機器・器具を採用しており、運用上も給気静圧制御や「モード」等を盛り込み、省エネルギー、省CO ₂ を図っている。	LR3 敷地外環境
LR2 資源・マテリアル	設計施工者は、リサイクル材使用を推進。今回設計についてもリサイクル材(グラスウール、ロックウール、石膏ボード)を使用予定	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい